# 2021年度総会

特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会



2022年度JDBA理事会

## ご挨拶

## 前理事長 篠原 雅哉氏

※動画映像を流します

#### 【お知らせ】

- 1. 理念・使命・行動指針について
- 2. 組織体制について
- 3. 顧問について

#### 【議題】

- 1. 2021年度 事業報告について
- 2. 2021年度 会計報告について
- 3. 2022年度 事業計画(案)について
- 4. 2022年度 会計予算(案)について
- 5. 定款の一部変更について

## お知らせ

JDBA会員の数は減少傾向が続いており、 全体的に衰退してる状態だと感じております。

JDBAは、これから新しく生まれ変わります!
会員やデフバスケ界から信頼される組織運営を遂行します!
そのため、我々役員がJDBAを運営していく上で、
一番大切な「理念・使命・行動指針」を提示します!

デフであることを尊重し デフのためのバスケを通じて 多種多様な人々とともに お互いに歩み寄れる社会をつくります



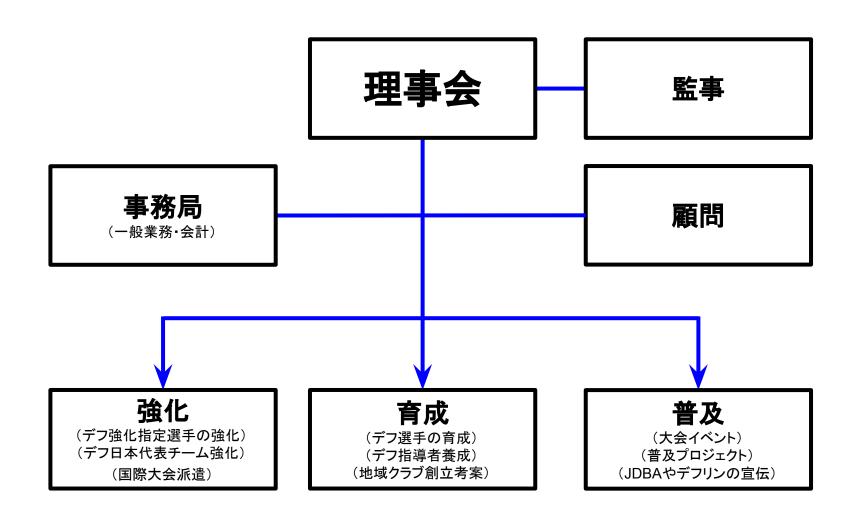
デフであることを尊重します お互いの違いを認め、深い対話を心がけます 会員のために、誠実に運営します デフのためのバスケットボールを創ります デフバスケットボールの普及と発展に寄与します 世界に通用するデフ選手を育てます デフバスケットボールを通して社会課題を解決します

## JDBA

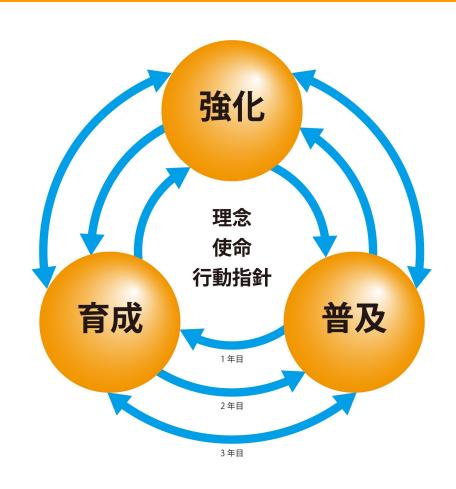
#### (理念をどう守り、使命をどう果たすか)

私たちは、言語が異なっても、お互いの対話を通して学び合います 私たちは、社会障壁で悩んでいる会員の受皿となり、守ります 私たちは、会員の意見を真摯に受け止め、情報を発信し続けます 私たちは、多種多様の人がデフバスケットボールを楽しめる場を設けます 私たちは、常に情熱を持って挑戦を続けるデフ選手を支援します 私たちは、後に続く子供たちの夢を支え、育て、守る環境をつくります 私たちは、デフバスケットボールを通して偏見のない多様性のある ボーダレスな社会づくりに貢献します









3つの柱を土台とし、みんなで力を合わせて、対策を立て、改善しながら積み上げていく。





#### JDBA運営などのアドバイスを受けるために、辻 秀一氏を顧問に委嘱しました。

プロフィール 1961年東京生まれ。北海道大学医学部卒業後、慶應義塾大学で 内科研修を積む。人の病気を治すことよりも「本当に生きるとは」を考え、人が自 分らしく心豊かに生きること、すなわち"人生の質=クオリティーオブライフ(QOL)" のサポートを志す。その後、スポーツにそのヒントがあると考え、慶大スポーツ医 学研究センターを経て、人と社会のQOL向上を目指し株式会社エミネクロスを設 立。応用スポーツ心理学をベースに、個人や組織のパフォーマンスを最適・最大 化する、自然体な心の状態「Flow」を生みだすための独自理論「辻メソッド」による メンタルトレーニングを展開。スポーツ・芸術・ビジネス・教育の分野で多方面から 支持を得ている。活動の場は多くの企業へ広がり、講演活動や産業医、Chief Health Officer、社外取締役など様々な視点から、企業の健康経営のサポートやフ ローカンパニー創りにも取り組む。さらに、スポーツの枠を超え、コンサルタントとし ても幅広く活動。行政・大学・地域・企業・プロチームなどと連携し、スポーツの文 化的価値「元気・感動・仲間・成長」の創出を目指す。東京ROUGH(デフ バスケ)、東京エクセレンス(聴バスケ)、NO EXCUSE(車椅子バスケ)の監督

バスケ)、東京エクセレンス(聴バスケ)、NO EXCUSE(車椅子バスケ)の監督であった。

## 議題

### 1. 2021年度事業報告 について

区分	大会名	実施日	実施場所	総額
競技	第8回理事長杯 全日本デフバスケットボール選手権大会	R3.11.20-21	オーエスジー体育館(愛知県豊川市)	137,872円
広報	HP作成及び更新	通年	全国	14,883円

### 2. 2021年度会計報告について



2021年度事業活動収入 2021年度事業活動支出	十 2, 186, 508円 817, 905円
2021年度事業活動合計 2020年度繰越資金	十 1, 368, 603円 十 2, 322, 746円
2022年度繰越資金	十 3, 691, 349円



#### 一般会計

	受取会費(約40人分)	81,500
	受取助成金	1,100,000
収 入	事業収益	30,000
	その他収益(利益を含む)	975,008
	合計(経常収益)	2,186,508
	競技事業	137,872
	男子強化事業	0
支出	女子強化事業	100,440
	事務事業	579,593
	計(経常支出)	817,905

#### 強化会計

0
0
0
0
0
974,754
236
18
975,008

強化事業は活動をしていないため、 収支はありません。

### 3. 2022年度事業計画(案)について



#### <事業実施方針>

- 組織体制を再構築し、公平性、透明性を確保した組織運営をする。
- 強化、育成、普及の各事業をバランスよく実施する。
- 外部団体との関係の強化に努める。
- 情報保障の体制を整える。
- 事務所及び所轄庁の移転(前年度からの引き継ぎ事項)
- スポーツ団体ガバナンスコード(13原則)を遵守するため コンプライアンス委員会を設置

#### <法人事業全体の計画>

- ①強化に関する事業
- ② 育成に関する事業
- ③ 普及に関する事業
- ④ 全国並びに国民に対する広報に関する事業

### ①強化に関する事業



1. 日本代表の選考会および強化合宿

東京デフリンピック2025に向けてメダルを目指すチームづくり。

追加連絡や課題などは、 ホームページにて随時掲載していきます。

## ②育成に関する事業



1. デフのジュニア・ユース育成

ジュニアやユース、キッズたちがバスケを取り巻く環境を創り出す。

追加連絡や課題などは、 ホームページにて随時掲載していきます。

## ③普及に関する事業



- 1. 全国デフバスケットボール大会「エネオスミミリーグ」の開催
  - 名称:第20回全国デフバスケットボール大会
  - <del>通称:いしかわENEOSミミリーグ</del>
  - <del>日時:2022年3月4日(金)~6日(日)</del>
  - ※コロナ感染拡大により、中止になりました。
- 西日本ブロック大会・イベント 大阪(未定)
- 東日本ブロック大会・イベント
   東京(未定)
- ENEOSカップ(2022年12月)
   愛知(未定)

### ④広報に関する事業



1. 公式サイトの活用 以下、公式サイトにて積極的に情報発信を行う

【公式サイト】<a href="http://jdba.jp/jdba/">http://jdba.jp/jdba/</a>.

【公式サイト】<a href="http://jdba.jp/main/">http://jdba.jp/main/</a>
※新ホームページ検討中です。

[Facebook]http://www.facebook.com/deafjapanbasketball

[Twitter]http://twitter.com/#!/\_JDBA

[Instagram]https://www.instagram.com/jdba\_office/

2. プロモーション動画作成

ドキュメンタリー(10~20分間)ショートムービー(1分間)

## 4. 2022年度会計予算(案)について



#### 2022年度予算案の概要

	項目		金額	説明
収益	受取会費		25万円	会員50名×5,000円
	受取寄付金		20万円	運営活動予算が足りないため計上。
受取国庫補助金 受取民間助成金		助金	360万円	JPC助成金。すべて強化事業に充てる。金額は予想。
		成金	110万円 ENEOS寄付金。すべて育成・普及事業に充てる。	
	事業収益		12万円	普及事業へ使用。チーム参加費、企画参加費
		計	527万円	
支出	強化男子		180万円	国内強化事業。アジア太平洋デフバスケ競技会への派遣なしの場合
	強化女子		180万円	国内強化事業。アジア太平洋デフバスケ競技会への派遣なしの場合
	育成事業		20万円	ジュニア、ユース育成事業。
	普及事業		102万円	①東日本ブロック、②西日本ブロック、③ENEOSカップ
	管理費		48万円	協会運営活動用。
		計	530万円	
当期経常増減額			-3万円	収益-支出
前期繰越正味財産額 3		36	9万1,349円	
次期繰越正味財産額		36	6万1,349円	

#### 第5号議案

定款(職員の任免) 第59条 事務局長及びその他の職員は、理事長が任免する。 上記により、日比野理事を事務局長に任命した。

定款(事務所) 第2条 この法人は、事務所を<u>千葉県松戸市</u>に置く。 現在の事務所(定款上)は、大阪府大阪市となっていますが、事務局長の任命に伴い千葉県松戸市に変更します。

#### 新旧対照表

新	旧	備考欄
第1章 総則 (事務所) 第2条 この法人は、事務所を <mark>千葉県松戸市</mark> に置く。	第1章 総則 (事務所) 第2条 この法人は、事務所を大阪府大阪市に置く。	(変更)

#### 新理事の自己紹介



#### 1. 竹本 圭佑

こんにちは初めまして。竹本圭佑と申します。事務委員を担当しています。

昨今デフバスケットボールの競技人口が減ってきており、そこで私たち JDBAとして新しく掲げた、デフを軸とした理念【普及・育成・強化】をもとに早急に取り組まなければならないことを国内からはじめ、段階を踏みながら、国際大会出場つまり日本代表の強化を今後着手していく考えです。ろう・聴覚障害者と聴者が共にリスペクトしあえる環境を私たち JDBAが作り出し、光り輝くデフバスケットボールの未来へ向かって共に歩みましょう!!

#### 2. 勝野 崇介

この度、初めて理事に選出いただきました勝野崇介です。

デフバスケに出会ってから早20年が経ち、今でもデフバスケに携わっております。

教員をする傍ら、デフバスケを通して、皆様にデフバスケがもつ新たな価値観を提供できるように進めてまいりたいと思います。今後とも諸先輩方のご指導、ご鞭撻を頂けますようよろしくお願いいたします。

#### 3. 田邊 紗矢香

初めまして。理事に就任しました田邊と申します。

この度、ご縁を頂きまして、デフバスケに携わらせて頂くことになりました。微力ながら、お役に立てますよう尽力致しますので、宜しくお願い致します。

## 以上となります。 ありがとうございました。

2022年度JDBA理事一同